

各位

会社名 株式会社タスキホールディングス
代表者名 代表取締役社長 柏村 雄
(コード番号：166A 東証グロース)
問合せ先 執行役員 M&A・グループ戦略部長 浅井 亨
(TEL 03-6447-0575)

2024年9月期 通期連結業績予想と実績との差異 及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2024年8月2日に公表いたしました2024年9月期（2023年10月1日～2024年9月30日）の通期連結業績予想と本日開示の実績に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向などを踏まえ、2024年4月1日に公表いたしました2024年9月期の1株当たり配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想と実績との差異について

(1) 2024年9月期（2023年10月1日～2024年9月30日）通期連結業績予想と実績との差異

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	47,100	5,250	5,000	4,500	2,850	68.62
実績（B）	47,455	5,478	4,065	3,560	2,217	53.39
増減額（B－A）	355	228	△934	△939	△632	－
増減率（％）	0.8	4.4	△18.7	△20.9	△22.2	－

（注1）1株当たり当期純利益は、当社が2024年4月1日に株式会社タスキ（以下、「タスキ」）と株式会社新日本建物（以下、「新日本建物」）の経営統合にともない、両社の共同株式移転により設立された会社であるため、会社設立前の2023年10月1日から2024年3月31日までの期間につきましては、企業結合会計における取得企業であるタスキの期中平均株式数に株式移転比率を乗じた数値を用いて算出しており、2024年4月1日から2024年9月30日までの期間につきましては、当社の期中平均株式数を用いて算出しております。

（注2）当社は2024年4月1日設立のため、前期実績は記載しておりません。

（注3）当社はM&Aの積極的な検討を継続し、インオーガニック戦略を推進するためキャッシュ・フロー重視の経営にシフトする観点から、当社のキャッシュ・フロー創出力とオーガニック成長の実態を表す指標としてEBITDAを開示しており、EBITDAは、営業利益＋減価償却費＋のれん償却額＋株式報酬費用＋PPA（棚卸資産の評価替え）取崩額として算出しております。

(2) 差異の理由

当社は、経営統合による企業価値の向上を目的として、2024年4月1日付で、株式会社タスキ（以下、「タスキ」）と株式会社新日本建物（以下、「新日本建物」）との共同株式移転により、タスキを取得企業とする、両社の共同持株会社として設立（以下、「本企業結合」）されました。

本企業結合に伴い、取得原価の配分（Purchase Price Allocation（PPA）と呼ばれ、取得原価を被取得企業の識別可能な資産及び負債の企業結合日時点の公正価値（時価）を基礎として、当該資産及び負債に配分するプロセス）を実施し、被取得企業である新日本建物が保有する棚卸資産及び固定資産等につき評価替えを行っております。

取得原価の配分の結果、本企業結合に係るのれんの発生額は2,342百万円となりました。また、棚卸資産及び固定資産の評価替えに基づく取得原価の配分額は、その売却及び減価償却を通じて取り崩され、費用化されます。

2024年9月期の連結業績については、タスキの販売が好調だったこともあり、売上高及びEBITDAは業績予想を上回りましたが、企業結合時点で評価替えを実施した棚卸資産の40件のうち、22件の売却・引渡しが完了し、その取得原価の配分額が費用化されたため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を下回る結果となりました。

なお、当該取得原価の配分額の取り崩しは、2024年9月期においてその大半が完了しており、また、一過性のものであるため、翌期以降の連結業績への影響は軽微であります。

2. 配当予想の修正について

(1) 2024年9月期配当予想の修正

	年間配当金
	期末
	円 銭
前回予想 (2024年4月1日)	15.00
今回修正予想	16.00

(注) 当社は2024年4月1日設立のため、前期実績及び2024年9月期第2四半期までの実績は記載しておりません。

(2) 修正の理由

2024年9月期の連結業績につきましては、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が業績予想を下回る結果となりましたが、キャッシュ・フロー創出力とオーガニック成長の実態を表す指標として当社が重視するEBITDAは業績予想を上回っており、当社が掲げる株主還元方針及び配当性向、棚卸資産残高の積み上げ状況やM&A等の投資計画を総合的に勘案した結果、2024年9月期の配当予想を上記のとおり修正いたしました。

以 上